

連盟ニュース

308

神奈川 9

2010.9.14



『劔岳より鹿島槍ヶ岳を望む』北アルプス・前劔岳にて 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

へり救助のリスクと登山者の今後の課題	連盟会長 中山建生	2
10.3丹沢クリーンハイク(不動尻コース)	県連・川崎ハイキングクラブ	4
セルフレスキューに関する講習会の説明	救助隊・海輪、遭難対策部・田村	3
「ファーストエイド講習会」のご案内10/17	神奈川県連・遭難対策部	5
《ナーゲル定例山行》2010/9/5 茅が岳	小田原ナーゲル山の会	6
ハイキングリーダー学校養成山行4「丹沢/葛葉沢」	藤沢山の会 柴田あけみ	7
第15回全国登山者自然保護集会のご案内	東京都勤労者山岳連盟	8
田部井淳子さん労山50周年記念講演会		14
西城州の紅葉を楽しむ群馬県民ハイク2010 in 南牧村		14
8/31臨時理事会議事録 12p	8月自然保護委員会報告8/30	13
9月度常任理事会報告9/6 9p	8月事務局長会議報告8/10	10
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		16
登山時報紹介 / 県連のスケジュール / 全国会議行事予定		18



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

ヘリ救助のリスクと登山者の今後の課題

2010.8.2 神奈川県勤労者山岳連盟

中山 建生

埼玉県秩父市で遭難者を救助するために出動した防災ヘリコプターの墜落はどのような問題を私たちに投げ掛けたのでしょうか。墜落の原因は現地の地形から生ずる気流の変化、エンジンのトラブル、樹木への接触、そしてセッティング・ウイズ・パワーなどが考えられるとしています。穂高、秩父と山岳でのヘリ救助の難しさから出動基準の見直しがされるものと考えます。穂高の事故では警察と防災ヘリの任務の分担が確認されています。ヨーロッパアルプスでのヘリ救助は先進的な事例としてよく紹介され、日本もこれに追い付くよう努力しています。

山岳での重症事故では早期に登山者を医療施設に搬送するためにヘリ救助は欠かせません。しかし、平地での救助活動とは大きく異なり、高所での作業、樹木や狭い地形のもたらすリスク、空中からの懸垂下降などの行動は救助者に知識や技術、訓練の必要性があることを十分に理解させます。

雪崩事故の遭難事故者の発見、応急処置、搬送なども、ヘリの活動に大きく依存しています。生存救出、後遺症のない救出を考えると、登山者と一体となった訓練が必要です。かつて新潟の防災ヘリとの訓練を体験しましたが、縦横30mの雪の踏み固め、周辺樹木の刈り取り、ヘリの後方に救助隊員等が進入したり、待機場所としないことなどを学びました。これらはヘリの作業の安全を確保すること、地上の隊員等がヘリの活動を熟知することですみやかな収容活動がなせることになります。

宝剣岳の事故では県警のヘリが遺体の発見、収容活動に以下のような対策と注意を払いました。活動中の雪崩の危険に関しては発生領域の推定、走路となる部分、地上隊員の逃げ場所の確認、後方支援の待機場所、監視など必要な手立てを取ることで現場の安全性を高めましたが、これとて危険がなくなったわけではありません。自然条件はヘリの飛行、収容に問題のないもので

した。この収容活動は県警と山岳救助隊員が行い、私たちは関与しませんでした。

奥秩父のような事故現場での安全を考えれば、現場にいる登山者等が事故者の搬送を可能とすればより開けた場所への移動、ロープやワイヤーが枝に絡まないように樹木の切り倒し、発煙などで気流の流れを知らせるなどは意味があります。救助活動にともなう安全に関しては登山者等が学習と訓練をしておくことは安全の向上と速やかな搬送につながります。

もちろんヘリのパイロットや救助隊員等がヘリ救助の訓練をしてレベルを上げることは当然のことです。また山岳救助隊員や救助活動を指導している人たちには専門的な学習と訓練が必要です。その成果を会員たちに伝えることです。先の雪崩事故の場合には雪面に着地することはできないため、空中でホバリングをして、隊員が懸垂下降、下りてからすみやかにロープを解除して、ヘリの風圧を避けなくてはなりません。一番のリスクはこの作業中に雪崩が発生した場合です。ロープを付けた隊員は雪崩に巻き込まれればヘリの安定を崩すかも知れません。あるいは雪崩の風圧と雪によりヘリを横倒しとするかもしれません。こうしたことは予想でざる範囲のことで、危急の場合には下降した隊員を見捨てることを覚悟しなくてはならないと考えました。万一に備えてこの隊員には地上からのバックアップの体制を取りました。

雪崩救助にも絶対の安全確保はなく、常に一定のリスクは覚悟の上で現場での活動を強いられます。考え方はふたつに一つで、安全性の確保ができないなら捜索救助活動をしないと考えるなら結論は明らかです。現場を見て能力や経験がなくてできないという場合もあります。また条件が悪化して途中で中止というのもあります。もうひとつは複数のリスクがあっても可能な対策と回避はできるとして、軽微なリスクを覚悟の上で救助活動をする立場にたつことです。

実際に行なう捜索救助活動はこれにあたります。したがって予め捜索救助活動にともなうリスクを現場到着前に考えておくこととなります。現場に着いての直接確認とチェックは当然に必要となります。そのうえで活動を組むこととなります。今回の現場で予想されたことは気流の変化、狭い場所、樹木の障害、万一の場合の逃げ場のなさなどでしたら、これに備える対策を考えた上で行動することとなります。それでも危険はゼロにならないでしょう。私も宝剣岳での収容活動で助けたいとする意志がリスクを軽視しました。実際に理屈のうえでは冷酷になれと諭しましたが、現場で活動を開始してしまったら助けたいとする気持ちを押さえるのは困難です。これを冷静にさせるのは普段から実例を検討し予想される事態を想定した活動を組み立て、リスクの発生に対して複数の対策を取れるようにすることです。取れなければ中止するか、リスクを覚悟で実行するかのいずれかです。ただし、いちかばちかの闇雲の行為は正しくあ

りません。見通しもなく突こんでしまったからです。宝剣岳での生存者2名の収容活動では私は隊員に出動を強制せず、リスクがあることを知らせたうえで隊員として出るかどうか本人の意志に任せました。それでも私には隊員の安全に責任がありました。3分の1の隊員が雪崩に巻き込まれた場合までどうするのかを考えてはいました。捜索救助活動に関してのチェック一覧表は40項目を越え、自分ではやれると判断しましたが、主観的な気持ちが入り込みました。これは後に反省として報告しました。今回の奥秩父の教訓は事故の原因を探り、再発の防止をはかることとヘリによる発見救出活動に伴う危険を登山者も理解し、双方でリスクの軽減、積極的な対策を学ぶことと考えます。本来的には事故が起きなければヘリの出動はないのです。事故は当事者のみならず救助に関わる人たちも危険に巻き込みます。こうした現実を重く受けとめましょう。

以上

セルフレスキューに関する講習会の説明

2010年9月10日 救助隊・海輪、遭難対策部・田村

10月17日(日)のファーストエイド講習会(遭難対策部主催)や、11月3日(水)のセルフレスキュー訓練(救助隊主催)の前に、セルフレスキューの内容と、習う意義に関して説明をしておきたいと思えます。

セルフレスキューとは、事故が起きたときにその場に居合わせた人によって、初期の処置を行い、行政機関(警察、消防、病院など)への引継ぎを行うまで事故者を保護したり、軽微な事故であれば自力下山をするための技術です。

具体的には、救助、応急処置(ファーストエイド)、救援の依頼(連絡)、搬出・移動、保温・ピバークとなります。

ファーストエイド講習会

応急処置の重要性は徐々に認識されてきて、消防署や赤十字では心肺蘇生法やA E

Dなどの講習も実施されていますが、さまざまな条件が異なる山の中ではそれなりの技術が必要となります。ファーストエイド講習会ではそのための技術を学びます。

(ファーストエイド講習会は毎年行う予定ですので、今回が駄目な方は来年に受講することが出来ます。また一度で出来るようになることは難しいので、繰り返し受講することが有効です)

岩登りでのセルフレスキュー訓練

救助隊が救助時に使用する技術はチームレスキュー技術です。そこでは普段のクライミングや沢登りでは使用しないロープ、アッセンダー、スケッドストレッチャー(搬出用担架)を使用します。

しかしながらレスキュー技術の原点はセルフレスキュー技術であることや、自分や仲間が助かるためにはまず何よりもセルフ

レスキュー技術が必要であることから、数年前から講習会形式でセルフレスキュー講習会を開催しています。

そこで知ったことは、ゲレンデはおろか実際の岩登りに行っている人でも自己脱出の方法を知らない人が多いことです。二人のパーティーで視界から消えて声も聞こえないリードに事故が発生した場合、即座に救出できるのはピレイヤーだけです。そのような場面を想定して、「ピレイヤーの自己脱出」「1/3システムでの引き上げ」「負傷者を介助しての懸垂下降」等の訓練を行います。

さて、これらのセルフレスキュー技術は事故を起こさなければ（事故に遭わなければ）関係ないと考えられる方もいるかもしれませんが、しかし事故はいつ、誰に起こるか分からないことです。またセルフレスキューを学ぶことで事象事例や事故発生時の対処法を知ることが、事故を防ぐ「危険予知能力」の向上にもつながると考えられていますので、多くの方に参加していただきたいと思ひます。

実施要綱や詳細は、別に案内させていただきます。以上

自然保護委員会 第2報

10月3日 丹沢クリーンハイク（不動尻コース）

「大山下山989m地点」はまだ沢山のゴミが散乱しています。ぜひ多くの方の参加できれいにしましょう。

コース ヤビツ峠---大山---989m（水源の森林）---唐沢峠---不動尻登山口

*ゴミは989m地点に古い缶やピンが散乱していますこの場所を重点的に拾います
回収したゴミは、下山口付近に置く

（第1報の大山下社は、誤りで大山です。お詫び申し上げます）

集合時間 ヤビツ峠9時（秦野発8時18分のバスがあります）

*計画書提出、打ち合わせ後 軍手 ゴミ袋を持って出発

背負子のある人はお願いします

歩行時間 4時間

参加者は山行計画書を、自分の会に必ず提出し、もう一枚はヤビツ峠の受付に提出
医薬品は、各会で持参

*ケガ等しないように各自、安全山行で、交流も兼ね、楽しくゴミを拾いましょう

緊急連絡先

渡辺三男（相模アルパインクラブ）090-2422-6644

萩原福子（藤沢山の会）080-1011-6644

大用ユキ子（川崎ハイキングクラブ）090-7708-3503

主催 県連自然保護委員会・川崎ハイキング

問い合わせ先 メールアドレスwatch_tanzawa@k-rouzan.net

県連自然保護委員会又は各会自然保護委員まで

「ファーストエイド講習会」のご案内

2010.8 神奈川県連・遭難対策部

山でアクシデントが起きた時はどうすればいいでしょうか？その場の持ち物を使い、自分たちで即座にできるファーストエイド（応急処置）の技術を学びましょう！

主催：神奈川県連・遭難対策部

講師：高津久美 MFA(メディック・ファースト・エイド)インストラクター

日程：2010年10月17日(日)

場所：藤沢市村岡公民館
3階 多目的室

藤沢市弥勒寺一丁目7番7号

電話0466(23)0634

JR藤沢駅北口より徒歩15分

服装：汚れてもよい動きやすい服装

タイムスケジュール：

受付9:15～講習9:30～休憩12:00～12:45 終了～16:45

昼食：休憩時間に各自(講習会場での飲食も可。ゴミは持ち帰り)

費用：労山会員：1,000円・一般：2,000円

(神奈川県連のリーダー学校受講生・講師、ハイキング学校受講生・講師、救助隊員は500円引き)

対象：登山・ハイキング・クライミングなど愛好者

主な講習内容：

必携装備の紹介、
出血のコントロール、体位の変換
包帯の使い方
捻挫・打撲・骨折の処置、疾病、
総合的なシミュレーション

持ち物：三角巾、筆記用具

持っている方のみ(新規購入不要)：

救急パック、スーパーのビニール袋
ストッキング、ストック、折畳傘

申込先：留守電・FAX 050-3488-3765

e-mail kanagawa.soutai@gmail.com

申込締切：10月6日(水)(定員30名で打ち切らせていただきます)



過去のファーストエイド講習の様子



《ナーゲル定例山行》 2010/9/5 茅が岳

【コース/タイム】

深田公園駐車場8:55 小休止1回 10:03
女岩10:12 小休止2回 11:02深田久弥碑
11:08 11:24山頂12:07 12:55女岩13:
05 14:00駐車場

【報告/雑記】

9月の定例会山行は、7月に心臓病で亡くなった中島健一さんの追悼山行とした。中島さんはその長大な山行歴の結果、日本百名山踏破を果たした。そこで提唱者の深田久弥ゆかりの茅が岳に登り、しみじみと中島さんを偲ぶことを目的とした。

中央高速を萑崎で降り、昇仙峡ラインを北東にしばらく走ると、道路左側に深田記念公園の駐車場がある。そこには地元山岳会の方がおり、誘導かたがた登山計画書を受け付けてくれた。山の状況、下山後のお風呂の情報等を仕入れる。太陽が時々顔を見せる夏空が広がっていた。

異常猛暑の8月を引きずり甲府盆地も朝からうだっていた。駐車場をあとに女岩への道は、生い茂る夏草と虫時雨の中である。時折差し込む日射は広葉樹がさえぎってくれてはいるが、ソヨリとも空気が動かない。だらだら登りは蒸し風呂の中のような岩だが、その裾から流れ出る水は、トイレで導かれこの上もなく冷たい。一息入れるとここから急登が始まった。

相変わらず風も眺望もない山腹を、ひたすら上へ向かって登るだけだ。それに耐えればやがて上方の樹木の間隙が見え始め、唐突に尾根に飛び出す。ここでほんの僅かだが

空気が動いてくれた。しかしそれは大気の一瞬の気まぐれだったようだ。指導標に従って尾根道を登ると、すぐに深田久弥終焉の地の碑に差し掛かった。ここで最初の儀式、碑にお線香を手向け、記念写真撮影を執り行った。

記念碑から頂上に向けて歩を進めると、いま手向けたお線香の香りがどこまでも一緒に昇ってくる。中島さんが煙となって一緒に登ってくれているようだ。頂上までの岩混じりの道は、それまでに比べればほんの少し見通しは良いが、想像以上に長く感じた。とにかく暑い!

小広い頂上には多くのハイカーがたむろしていた。周囲の山波にはもやがかかり、富士山も見えない。さしもの烈日も霧で薄められ、日照りは避けられたが、風もなく気温だけはますます上がる。山座同定も暑くて気が乗らない。ここで昼食タイムと2回目の記念撮影を行った。森谷さんご持参の写真、かつて中島さんがこの茅が岳に登ったときの頂上写真は、少しばかり若かった中島さんの変わらぬ笑顔に、皆の視線が集中した。

頂上をあとに来た道を引き返す。高度を下げるに従い、さらに気温上昇を感じず。急な下りは粘土質の地面で足をとられやすい。雨のあとだともっと滑りやすいだろう。女岩で再び一服、予定時刻きっかりに登山口の駐車場に降り立った。本日も暑かったけれど、中島さんを偲びながら皆で賑やかに山行ができたのも、やはり中島さんの遺徳の賜物だったのだろう。



ハイキングリーダー学校養成山行4「丹沢/葛葉沢」

日にち：2010年8月8日（日）

参加者：受講生7名 講師6名

テーマ：「鷹取山での岩トレ、ロープワークを実際に試してみる」

初級沢登りの体験を通して安全性を高め、今後の沢登りや、ハイキングが楽しく出来るようにする。

今回は鷹取山での岩トレ、ロープワークを実際に活用した沢登りです。

リュックの中は日帰り装備にプラス ヘルメット・ハーネス・沢シューズ・沢用靴下・スパッツ・カラビナ・シュリング・着替え。ザックの中が濡れないようビニール袋で二重にしています。

秦野駅より車とタクシーで20分程で「葛葉の泉」（全国名水百選・ミネラルが大量に含んだ水）へ、車一台、道迷い30分程遅れ到着、すぐに装着装備、中山校長の挨拶、注意事項を受け、準備体操をし、2班に分かれて9時出発。

足元を確認しながら沢の中を歩き始める・・・何と爽やかな、日々の暑さを忘れさせてくれる。ゆっくり歩いていると前の方と離れてしまう、ジャブジャブと歩くとそれは気持ち良い。

小さな滝、前の方の足の位置を見ながら、自分の歩幅を考えイメージして登攀する滝の岩肌に「イワタバコ」の花が涼しげな青紫色に咲いていました。

5,6m位の高さの滝（横向きの滝？）講師からの足場の取り方、進む方向のアドバイスを受け、登攀する。途中でちょっと水の中に脚を入れ水しぶきを浴び登る、爽やかな満足感。

7,8m位の高さの滝（板立ての滝？）講師の方2名が登攀し、ピレイセット、セットされたロープが2本下がってきました。鷹取山でのロープワークを思い出し、ハーネスに付けたカラビナにロープをWエイトノットと端をWオーバーハンドノットで結び、講師の方に確認していただき「お願いしまーす」の声かけて登攀、足元が滑らないよう一步一步進みました。そして太平橋（林道）に着き、林道で着替え昼食をとる。

午後は読図、現在地を確認し、コンパスを大倉に合わせ表丹沢林道を降り牛首を確認登山道と荻山林道の分岐で荻山林道を選択10分程降った所で分岐。そのまま荻山林道を降り秦野ビスターセンターで反省会。今年は水量が去年の1/3程でとても登り易かったようです。同じ沢でも、その時の天候等の条件で沢の様子が一転する事、気を付ける事、沢での楽しみ方、他の沢の様子等、講師の方々から聞かせて頂きました。

もう少し沢登りをしていたい・・・という余韻を残して実技山行を終了しました。

藤沢山の会 柴田あけみ



第15 回全国登山者自然保護集会実施要綱

主 催 日本勤労者山岳連盟
主 管 東京都勤労者山岳連盟
2010 年5 月31 日

メインテーマ

「生物多様性の恵みを大切にし、登山文化の発展を」

豊かな山の自然を守り、自然と共生した持続可能な登山文化へ

今年は、さまざまな生物の保全を目的とする生物多様性条約の第10 回締約国会議（COP10）10月に名古屋で開かれる年です。

日本勤労者山岳連盟は、37年前から全国いっせいにクリーンハイク運動に取り組み、2006 年には「労山自然保護憲章」を制定、「登山文化の継承発展と山岳自然と登山者との新しい共存をめざし」て、自然保護運動に取り組んでいます。

私たち人類も生物であり、他の生き物とのつながりのなかで生き、生物多様性の恵みのなかで暮らしています。私たちは各地域によって異なる伝統的な知識や文化をもって暮らしていますが、このような多様な文化は各地域の豊かな生物の多様性に根ざして生まれたものです。私たち登山者がめざしている登山文化の継承・発展は生物多様性の恵みなしには達成できません。

山岳自然は生物多様性の宝庫です。登山者には、生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたって享受できるように、山岳自然と共生する登山文化を実現していくことが求められています。

自然豊かななかで、楽しい登山を続けていくために、登山者として、どのようにしていかなければならないのか、なにが必要なのか、共に考えていこうではありませんか。

全国の登山愛好者をはじめ、登山団体、自然保護団体、研究者や関心のある市民など多数の方々が参加していただくことを心から期待しております。

記念講演 = 小川 潔氏（東京学芸大学教育学部准教授）

・講演テーマ「生物多様性の保全と登山者の役割について」

日程 = 2010年11月27（土）13時～28日（日）12時

場所 = プリDESTON奥多摩園

〒198-0171東京都青梅市二俣尾1-264 電話0428 - 78 - 8231 交通 = JR青梅線「石神前」駅下車 2 分
資料代 = 500円（夜の交流会参加者は別に1500円）

宿泊希望者は8000円（資料代、一泊二食付き・交流会費用含む）が必要です。

申し込み先・問合せ先 = 東京都勤労者山岳連盟（主管）

メール又はFAXにて申し込んでください。極力、都道府県又は会単位でお願いします。

締切期限は、11月13日（金）です。

E-Mail info@twaf.jp TEL/FAX 03-3260-0372

連絡先：都連盟自然保護委員会理事（渉外担当）林祥介080-2006-2073

理事（事務局予算担当）加木屋守秀 080-1208-4399

会議スケジュール【第1日目】11月27日（土）

- ・受付開始（12時00分） ・開会（13時00分）
- ・主催者挨拶 日本勤労者山岳連盟 / ・主管挨拶 東京都勤労者山岳連盟
- ・基調報告 日本勤労者山岳連盟自然保護委員会（13時20分～13時40分）
- ・記念講演（13時40分～15時40分）
小川 潔氏（東京学芸大学教育学部准教授）「生物多様性の保全と登山者の役割について」
- ・各地方連盟報告（15時50分～17時30分）
- ・地方連盟の5～6箇所から8～10分程度の報告を予定。

・食事と交流会（18時～21時）

【第2日目】11月28日（日）

・受付開始（8時30分） ・分科会（9時00分～11時00分）

分科会テーマ

生物多様性の宝庫である山の自然、汚さずに自然を傷つけない登山とは オーバーユースや携帯トイレ問題について考える

里山の自然を大事にし、山の多様な楽しみ方を求める登山文化を

地球温暖化と気候変動、登山者はどうすればいいか 低炭素登山について考える

野生鳥獣と共生するための登山者の役割 山岳地帯に進出するニホンジカやサル、人里に現れるクマ、イノシシなどについて考える

貴重な山の自然を破壊するヒトの経済活動や社会生活の問題について考える

分科会の討議内容報告（11時10分～11時45分）

まとめと閉会（11時45分～11時55分）

オプションツアー（希望者対象）

主管の東京都連盟実行委員会で、奥多摩のハイキング・登山（小屋泊まりを含む）を企画しています。希望する山がある場合は、担当者に早めにご連絡ください。オプション登山に必要な諸経費は、参加者にご負担いただくこととなります。ご自身で計画される場合は特に連絡不要です。

・鹿害害の川苔山、石灰石採石の天祖山、天狗裁判の高尾山、百目名山の雲取山などがあります。

常任理事会議事録

2010/09/06（月）

出席者：中山、後藤、田村、三上、増田、大用、池上、西川

欠席連絡：海輪

- 9/12（日）定期理事会について
13:00に現地集合。16:55には会場明け渡しのこと。
個人会員制についての討論。
採決事項はなし。
会場は帆船日本丸タワーB。
理事不足会からこの機会を出してもらえないか？（池上）
事務局長、組織担当、財政担当、会計監査が重点。
新任理事の補充のほか既存理事の任務替えも考慮する。（中山）
事務局長会議に出席している面々も活発的でその中から出てきてもらえそう。（大用）
今回は県連として提議する。

ハイキング委員会から教育の温度差があるので統一したい。
講師研修、信頼される講師集団を作りたい。（中山）

個人会員制度について・・・田村副理事長
中山会長意見を掲載

- 鷹取山整備について

- 9/5（日）追浜観光協会主催で鷹取山草刈整備を行い、県連からは増田常任理事、宮澤理事ほか8名が参加。
- 関東ブロック雪崩机上講習の神奈川県連主催は12/16（木）19:00～21:00、県民センター403号予定。講師は中山会長。
- 平和運動の取り組みは神奈川としてどうなっているのか？（田村）
平和行進くらいではないのか。具体的な活動が広報されていない。
全国連盟は運動として外していない。（中山）
- 関東ブロック役員交流会について（後藤）
9/25（土）～26（日）清里 / ペンション赤レンガ TEL0551-48-2390
出席予定者 中山（土曜のみ）、西川（土日）、高橋（土日）、後藤（日曜のみ）
- 出張講習などは行事主催者プランをかける（田村）
- 3/13（日）臨時総会の会場は未定（池上）
本来は理事会だが規約改正があるため臨時総会とする
- 10/3（日）不動尻クリーンハイクについて（大用）
共催は川崎ハイクと県連自然保護委員会。募集中。
9/23（祝）に下見山行を実施。こちらも募集中。
- その他
槍沢の雪崩事故調査報告（中山）
9月号連盟ニュース掲載内容について
事務局長会議担当理事 9/14・・・中山

10/12・・・西川
11/9・・・田村
12/14・・・大用
1/11・・・田村

しかし毎月会議に事務局担当の常任理事が出席

しているのだから、他の常任理事が担当してもらわなくてもよいのでは(大用)
1/6(木)に新年第一回目の常任理事会を開く。
1月中に個人会員制度についての県としての意見をまとめる。

8月 事務局長会議 議事録

2010年8月10日(火) 7:20開始

司会：池上事務局長

出席者：伊藤(川崎HC)・濱谷(横浜HC)・矢萩(藤沢)・
神野(ナグル)・蝦名(相模AC)・安野(雪童)・柏木
(おるた)

理事等：増田(ハイク)委員長)・蝦名(財政)・三上(機
関誌)・池上(事務局次長)・西川(事務局部員/
記録)

【 】県連からの事項(連盟ニュース7月号参照)
<初めに> お盆休み中なのか、代理出席者の方
が多く、今日提出をお願いしていた「ハイキング
活動を活発に豊に」のアンケートを、出席者全員
に記入をお願いし、提出をして戴く。

臨時理事会が8月31日(火)に有りますので、
ご承知おき下さい。理事の方には再度、開催の案
内(委任状の確認)を送ります。

「巻頭言を各会に交代で書いてほしい」の件に
ついて、再度要請。

昨年、各会から順番に「山行報告」を連盟ニュース
に書いて戴きましたが、途中で掲載して戴く会が
無く休業中。川崎HC、藤沢山の会、横浜HC、やま
+ 以外の会では是非続けて戴きたい。

・ ナーグルで中島さんの「追悼山行」が有ります
ので、報告を出したいと思います。原稿が間に
合わない時は、他の記事を9月10日(金)までに
送ります。

次の原稿もお願いしたいのですが、やって戴ける
会が有りましたら手を挙げて戴けますか。

・ 「みずなら」がやります。

有り難うございました。宜しくお願い致します。

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)

先日丹沢での事故報告は、連盟ニュース8月
号に掲載されて居ます。

当事者ですので、分かっている範囲の事を報告
します。リーダー学校で源次郎沢遡行後、源次郎
尾根を讀図で下山する計画で、1つの班が左に降
りなければいけない処を右の尾根に入った為、源
次郎沢に戻ってしまい、沢に懸垂下降で降りる事
になる。30センチ位の木を支点として、講師の方
1人が降りた後、2人目の講師の方が降りようと
した時に根本から抜け落ちて滑落してしまった。一
緒に居た受講生は、上からの指示でビレイをはず
す事が出来て無事だった。1時間半位で搬出され

た。2週間程安静にしていたが、今では元気にな
り、早く山に行きたいと言っています。腰椎と胸
椎の圧迫骨折なので、1ヶ月は入院、その後リハ
ビリに成ります。支点にした木は、見た目はがっ
ちりして居るんですが老木だったんですね。鎌倉
の大銀杏が倒れたのと同じです。

少しでも根が有ると、枝は生きているからね。
枝が青々しているからいいやと思うと怖いね。

雨で地盤がゆるんでいた事も有ります。

ケイスバイケイスでとれない事も有るけど、引
き上げ・引き下ろしのアンカーと自分のセルフは
別に取りえないといけない。セルフを取る時は他
の人のセルフと自分のセルフは別にしないとだめ
です。

先月の事務局長会議で、事故が発生した時、
「救助隊」を県連に要請する手順を教えてほしい
と、ご意見が有りました。中山会長から学習資料
をもらいましたのでご覧下さい。なお、中山さん
には失礼ですが分かりにくいところ有り、説明
出来ませんので、持ち帰って各会に合った体制を
作して下さい。県連の体制も至急確認しておき
ます。

谷川に入ったんですが、脱水症状だったのか、
3時間しか寝ないで岩登りして、暑くて水が足り
なくて、足がつったのではなく、両手がつりまし
た。登る前だったので良かったのですが、体がほ
てる事は有りませんでしたので、脱水症状かなと
思います。

鳳凰三山に行ったとき、猛暑で水だけは持って
行ったんですが、塩分はあまり持って行かず、足
がつりだしたんで、それを教訓に次の山行から塩
を持って行く様にしています。

熱中症について、テレビ・ラジオで塩分を含ん
だ物を飲まないでダメだと報道されているが、後
藤理事長からの注意事項として、ポカリなどを飲
み過ぎると肌にとまってしまい、発汗を阻害する
恐れが有りますので要注意。水を2回飲んだらポ
カリを1回飲む位が良いと思います。肌がべとつ
くのは、塩分が出ている証拠です。岩塩を持参す
るのが基本です。

足がつるのに効果が有るのは、漢方薬でツムラ
の68番(芍薬甘草湯・ソウゴクザウ)が効きます。
内科・整形外科で処方して貰して下さい。

事故が有った時、会としてどうゆう対応をする
か、各会で決めておいて下さい。事故が当事者ま

たはその会に対応出来ない場合に県連に「救助隊」を要請する事に成ります。一般的に、会の会長・副会長・事務局長から県連に連絡する事になると思います。県連の会長・理事長・副理事長・救助隊長など分かっている人に「一報」を入れ、「救助隊」が必要で有れば改めて要請して下さい。先程も話がありました、県連の体制も至急確認したいと思います。

県連は、指示も指導もして戴けるんですね。

(はい)

緊急連絡網だけでなく、会としての対応をするかを確認しておいて下さい。

【3】その他

<機関誌担当>三上氏から

連盟ニュース4頁に、クリーンハイクが載っていますので宜しくお願いします。

連盟ニュース6頁に、ファーストエイド講習会載っていますので宜しくお願いします。

連盟ニュース10頁に、労山カレンダー申込みが載っていますので宜しくお願いします。名入れの申込みは、ギリギリ9/15までに、事務局まで連絡下さい。

連盟ニュースを、好日山荘とカモシカスポーツの店頭に置いてもらっています。近くにお住まいの方、又は職場が近くの方が居ましたら、持てる範囲の部数で結構ですので宜しくお願い致します。

<会計担当>蝦名氏から

8月～10月の連盟費の請求書を配りますので、会計担当者にお渡し下さい。

<特集>【ハイキングリーダー学校】増田 徹(ハイキング委員長)

今日お集まりの方はハイキングよりレベルの高い方が多い様ですので、聞いてもしょうがないと感じる方もお出でかと思いますが、先ずハイキングをこなして自信を付けたらアルパインへ進むのが順当な手段かと思えます。そう言う意味でハイキングリーダー学校は重要なと自負して居ます。実際に入って来ている人を見ると、ハイキングと言う名の付いた会のところしかないんですね。例えば相模労山の様なハイな所に入会して、こんな筈じゃ無かったと言う人に、ハイキングリーダー学校を勧めて欲しいと思っています。学校では、ザイルのなんたるか、と言う時に使うのか、又チームワーク等についてから教えます。会に帰られて、新しく入会された方で、ハイキング志向の方が居ましたらハイキングリーダー学校を勧めて下さい。本人にとっても会にとってもいいと思います。

町中の読図をやると目標物が分かりやすく、地図の見方が楽しく成ります。次はどこそこの目標に行ったら良いかな。何それが見える筈だから、探

してみようとやっていると、コンパスが使える様に成ります。

次に鷹取山に行きます。岩に触ってみる。カラビナとはどんな役割をするものか。ザイルとはどう言うものなのか。等を体験させます。

8月には葛葉沢を遡行しました。沢を体験した後は秋の山、冬の山を行います。冬山は厳しい所ではなく、雪だるまが出来るようなところで、簡単な雪洞の作り方をやります。これはオプションで3月にハイキング委員会の小林氏の実家が長野県で、湯ノ丸山で実施しています。アイゼンやスノーシューを経験します。

終了式は11月ですので、秋の終了山行は、山とコースを自分達で決めて、実際にリーダーになった時にどうするかを体験的に学びます。

春に交流ハイキングとして佐渡島に行きました。もともと、ハイキングリーダー学校の卒業生を対象に実施していましたが、今年から交流ハイキングになりました。佐渡島は花の島です。

春のお祭りの時に行った時、和太鼓グループの「鼓童」の演奏や、正調「佐渡おけさ」を見学する事が出来ました。来年もその時期にやりたいと思いますが、佐渡汽船の有志の方のご協力で出来ているので、実施出来るかどうかは来年年にならないとわかりません。

(質問) 参加するにはどうすれば良いんですか。

連盟ニュースに載せます。ホームページには載りません。定員を28名にしています。

(質問) ハイキングリーダー学校の募集はどうなっていますか。

連盟ニュースにも、ホームページにも載ります。机上と山行で10回位です。(今年度は、机上6回、山行7回と終了式があります)

横浜HCでは、新人全員にハイキングリーダー学校入校を呼び掛けています。古い会員の中には計画書を書けない人がいますが、入校者はみなリーダーに育っていますので、大変助かって居ます。

「登山リーダー養成学校(初級)」を経験した人は、あえて「ハイキングリーダー学校」に入校する必要は有りません。

有り難うございました。これで終わりにします。



神奈川県勤労者山岳連盟・臨時理事会・議事録

日時：2010年8月31日（火）19～21時

場所：石川町・神奈川労働プラザ

1. 議長団選出

議長：加藤正敏（藤沢山の会）

副議長：増田徹（横浜ハイク）

書記：鳥越章夫（小田原ナーゲル山の会）

2. 資格審査

全理事24名中16名出席

過半数、よって議事は成立しました。

3. 理事挨拶（後藤理事長）

猛暑も一段落した感があります。神奈川県勤労者山岳連盟の規約について、部分的にリニューアルを重ねてきましたが、現在の活動内容について現実と乖離している部分も所々見られます。そのためこのたび大幅な規約改定の運びとなりました。どうか皆さんの屈託のないご意見をお願いいたします。

4. 議題説明（中山会長）

規約規定の改定について

・第4条（1）～（7）「登山・ハイキング」併記されているが

「登山」「ハイキング」それぞれの定義をしなければならぬのでは？

（参考）

特別基金の定義では「コースタイム、標高、無雪期、一般登山道」により分類される

中山氏の定義では、氷と岩を除くものが「ハイキング」となる。

・第4条（4）「啓蒙」は上から目線の言葉なので「啓発」への変更を提案します。

・「6条の削除」を提案します

・「神奈川県勤労者山岳連盟の講師選任に関する規定」の改訂について

講師の受講者に対する過度な言動が過去起きた経緯もあるので、同規定を盛り込みたい。

・「車両利用安全規定」第3条について

講師供出車両の中にガスボンベを放置し、夏場高熱になって爆発したという事例があり、再発防止のため提案します。

5. 質疑応答

Q.（遭対部長・田村）

常任理事の選出基準を規定に盛り込んでほしい。

A.（中山会長）

基本は立候補もしくは推薦後の投票によって行われますが、必要なら規定に盛り込むようにしたい。

提案：後藤理事長

添付資料24P「常任理事・理事の選出基準に関する規定」について

理事・教育担当の役割について

「連盟の各会だけでなく一般の登山者のための啓発活動も併せて」のような内容を盛り込んでいただけるよう提案します。

提案：蝦名（会計）

第37条（財政の内容）

（1）県連連盟費（2）全国連盟費（3）新体連連盟費

などの金額を明記するかどうか

Q.柴田（やま++）

新スポーツ連と労山との関係は？

A.中山会長

・県労山が行政に対して要求をするときの窓口になる

・事務所の電話は受信専用だが、

新スポーツ連の事務所の電話が発信専用に見えるので

事故発生時の事務所での待機に便利である。

・各種のスポーツ大会を通して他団体との交流を深めることができる

提案：海輪（救助隊長）

「神奈川県連盟への救助の要請及び要請者の費用負担に関する規定」について

第5条「隊員の日当に関しては1日当たり一万円を相当とする」とありますが、「保険」についても条文を盛り込んでほしい

Q.田村遭対部長

10P「神奈川県勤労者山岳連盟山行規定」について

第5条に「主催者、リーダーの過失による事故の発生を考え、各活動の年度開始時期に適切な保険に加入する」とありますが、「各活動の年度開始時期に」は従来利用していた「ボランティアリーダー保険」を意識した文だと思われます。保険はこれ以外にも、労山の「行事主催者賠償責任プラン」のように直前に申請するものもあるので、「各活動の年度開始時期に」は削除していただきたい。

なお、これは今後の課題ですが、「ボランティアリーダー保険」では講師に謝礼が支払われる場合には適用されませんので、労山の「行事主催者賠償責任プラン」を使う機会が増えることになると考えられます。しかし保険が下りるのは9割弱までで、1割および1万円は主催者の負担となっており、その金額を誰が負担するかは決まっていません。今後はこれらも決めてゆく必要があると思われれます。

A.中山会長

1億の賠償責任額が発生したら1千万の自己負担となります。

これは県連盟が負担することになります。大変

なりスクです。

県連盟に財政のストックが無ければ、会員各位による負担となります。

これはきちんと考えて適切な保険に入らないといけません。

ただし掛け金が多くなることも考えられ、予算との兼ね合いになります。

保険に詳しい、中山、海輪、田村などで調査をしましょう。

提案：海輪救助隊長

旧規約と新規約を各会員が見比べられるように、ホームページにファイルを掲載してダウンロード可能としたらどうか？

A．中山会長

自筆のワープロデータを県連ニュース編集長の三上氏に転送しましたがうまく読み取れません。会員に周知できるよう対応します。

Q．後藤理事長

「神奈川県勤労者山岳連盟規約」第2条「本連盟は事務所を神奈川県横浜市内に置く」とありますが、横浜市内に限定する必要はないのでは？（将来の事務所移転もありえるわけですから）

A．中山会長

金融機関などに口座を作成する時に事務所の所在を明確にする必要があるため、それを規約に明記する必要があります。

6．今後の予定

・理事は規約の内容を各会に周知して、改訂案について各会員の意見を求めて下さい。

それについて9月12日の定期理事会にて更に議論を進めます。

7．事務局より

・9月12日の理事会に向けて各部会の活動報告と、計画を三上氏へ送信してください。

※切は9月3日とします。

8．規約規定改定議事の承認について

・反対 0

・保留 0

・賛成 満場一致

9．議長団解散

以上

出席者：中山、後藤、田村、池上、三上、蝦名、三富、鳥越、柴田、海輪、宮沢、増田、加藤、当山、大用、高橋（敬称略）

8 / 30 自然保護委員会 議事録

場所：労山事務所

参加者：渡辺（相模AC）磯部（地平線）大用（川崎HC）三上（こぶし）高橋、萩原（藤沢山の会）関根（横浜HC）千葉（みずなら山の会）大日方（AC横浜）永井（カモの会）

議題：

- ・2010年度丹沢CH報告書校正
- ・2010年中間活動報告
- ・今後の予定

2010年度丹沢CH報告書校正作業

- ・印刷部数：600部
- ・折り込み作業：9/16 18:30～
労山事務所にて

2010年中間活動報告

- ・今後の方針を加える

今後の予定

- 9月 CH報告書を配布
- 10月 3日不動尻CH
- 11月 20～21日天城山観察会、27～28日自然保護集会（青梅市）
- 1月～2月 2011年丹沢CH実行委員会開始

3月 広沢寺CH

10/3 不動尻CHについて

- ・各会で募集する
（危ない所は特になし、一カ所だけきれている）

[内容決定事項]

- ・各会のリーダー中心で動く（実行委員はサポートする）
- ・989mのポイントで拾ったゴミを軽量、各会で用紙に書き込んでもらう
- ・小雨決行
- ・当日各会から計画書を提出してもらう
- ・直前に下見（ゴミの有無などチェック）日時未定
- ・集合時間：8:18着のバスで集まれる時間（5/30と同じ）
- ・手袋支給、背負子があればもってきてもらう
- ・大用さんからメールで詳細

11/27～28 第15回全国登山者自然保護集会について

- ・連盟ニュースに掲載されているが、引き続き各会で参加者を募集する
- ・高橋さん参加
- ・TAAFのHPにも詳細が載っている

田部井淳子さん労山50周年記念講演会

【講演テーマ】「世界の山々を目指して、私の生き方」

【講師】田部井淳子さん

【日程】2010年10月9日（土）仙台市
2010年10月2日（土）熊本市

【参加費】500円（資料代）

【問合せ】日本勤労者山岳連盟

電話 03-3260-6331

Fax 03-3235-4324

Mail jwaf@jwaf.jp

（ナマステより）

西城州の紅葉を楽しむ群馬県民ハイク2010 in 南牧村

-新日本スポーツ連盟スポーツ祭典として労山群馬県連盟と実施する-

【日時】2010年11月7日（日）午前7時集合

【集合場所】群馬県甘楽郡南牧村「農業者トレーニングセンター」

【登山コース】3レベル（家族・一般・経験者）11コース

(A) 家族向き（3コース）：大屋山・小沢岳・滝めぐり

(B) 一般向き（2コース）：四ツ又山・ひとぼし山

(C) 経験者（6コース）：鹿岳・烏帽子岳・三ツ岩岳・立岩・荒船山

家族向き（3コースと一般向き（2コース）がお勧め。

【費用】参加費：大人1000円、高校生以下500円（当日受付集金）

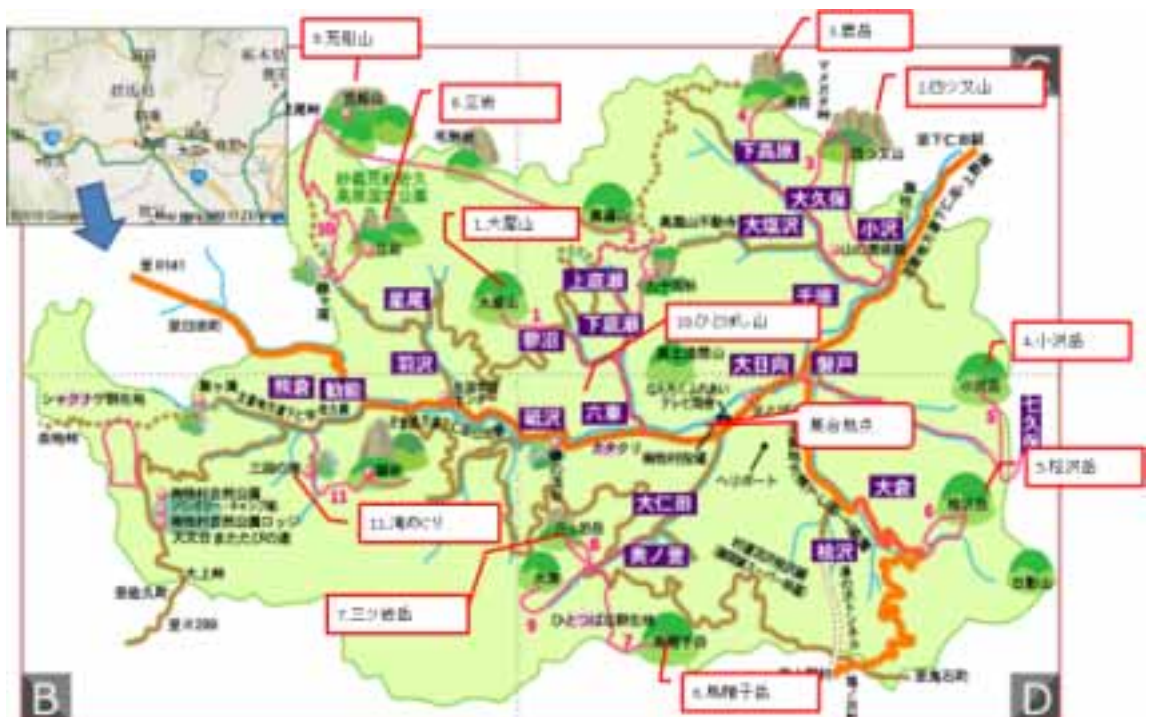
（参加記念品、保険料、登山口までのバス送迎代）

【申込締切日】11月3日(水)

【問合せ】日本勤労者山岳連盟・担当 石川友好

TEL:03-3260-6331 Fax:03-3235-4324 Mail:jwaf@jwaf.jp

（ナマステより）



神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計41名(男26 女15) 平均 歳

7/31-8/1 西丹沢・小川谷廊下(2+1)	8/7-11 北アルプス 前穂北尾根、北穂東稜(2)	タス～高見石(1)	8/21-22 富士山(1+8)
8/1 愛鷹山系・越前岳(2)	8/7-11 北アルプス 蝶ヶ岳・涸沢・奥穂高岳(4)	8/13-14 北アルプス・鏡平～抜戸岳(1)	8/21-22 甲府幕岩(2+1)
8/2-4 後立山・針の木～爺ヶ岳(1)	8/9-13 北アルプス・槍ヶ岳～前穂高岳(3)	8/13-16 北アルプス・屏風岩(3)	8/22 鷹取山(2)
8/6-8 北アルプス 奥大日・大日(3)	8/11-12 北八ヶ岳・ピラ	8/20-21 上越・小赤沢～苗場山(1)	8/22-25 北アルプス・燕～常念～蝶ヶ岳(1)

川崎ハイキングクラブ

報告：川上勝夫 計100名(男50 女50) 平均62歳

7/16-19 南八ヶ岳縦走/八ヶ岳(8)	7/30-8/1 甲斐駒ヶ岳(黒戸尾根)/南アルプス(3)	8/8 葛葉沢/丹沢(13)	9/12 駒ヶ岳・神山/箱根
7/17-20 光岳・茶臼山/南アルプス(4)	7/31-8/4 鹿島槍ヶ岳・五竜岳/北アルプス(3)	8/8 乾徳山/奥秩父(7)	9/15 六ツ石山/奥多摩
7/19 大室山～加入道山/丹沢(1)	7/31-8/1 尾瀬/尾瀬(2)	8/12-16 聖岳・赤石岳/南アルプス(3)	9/17-20 空木岳～木曾駒ヶ岳/中央アルプス
7/24 鳩ノ巣渓谷/奥多摩(11)	8/1 天覧山・多峯主山/奥武蔵(7)	8/12-17 農鳥岳・間ノ岳/南アルプス(3)	9/19 駒ヶ岳・神山/箱根
7/24-26 奥大日岳/北アルプス(6)	8/5-6 谷川岳・平標山/谷川岳(1)	8/14-19 薬師岳・立山/北アルプス(2)	9/23 滝山丘陵/中央線沿線
7/26-30 飯豊連峰縦走/東北(5)	8/5-9 剣岳/北アルプス(1)	8/14 大室山/西丹沢(5)	9/25 金時山/箱根
7/26-30 白馬岳/北アルプス(2)	8/6-7 富士山/富士山(10)	8/12-14 蓮華温泉-樽池自然公園(2)	9/25-26 甲斐駒ヶ岳～仙丈岳/南アルプス
7/30-8/1 仙丈岳・甲斐駒ヶ岳/南アルプス(3)	8/6-7 野尻湖 八間山/志賀高原(8)	9/3-6 白峰三山/南アルプス	10/2-3 吾妻山/福島
7/30 太神山(湖南アル	8/7-8 白駒池 高見石/北八ヶ岳(3)	9/5 二十六夜山/中央線沿線	10/8-11 白山/北陸
	8/8 戦場ヶ原/日光(6)	9/12 大野山/丹沢	10/16-17 畦ヶ丸/丹沢
			10/20 川苔山/奥多摩
			10/23-24 八ヶ岳/長野
			10/24 陣場山/中央線沿線

川崎柴笛クラブ

報告：砂原浩二 計32名(男19 女13) 平均48歳

8/1 塔ノ岳(1)	8/13-14 小川山(3+2)	8/19-20 富士山(1)	9/10-13 鹿島槍・五竜岳(1)
8/7-11 剣岳ロッククライミング(3)	8/12-15 白根三山(1)	8/22-26 前穂高(1)	8/29 モロクボ沢(1+1)
8/3-5 西穂高・奥穂高(1)	8/14-17 高天原・読売新道(1)	8/21-22 奥穂高岳(1)	9/4-5 安達太良山沢登り(5)
8/7-9 双六・三俣・水晶(1+3)	8/13 富士山(1+3)	8/21-22 鳥海山・月山(1)	9/4 一ノ倉沢(2)
8/7-12 上ノ廊下(3)	8/14-15 氷川屏風岩(1+1)	8/28-29 ナルミズ沢(8)	9/4-5 小同心クラック(3)
8/7-13 高天原温泉(2)	8/14 甲斐駒ヶ岳(2+1)	8/22 富士山(2)	9/5 谷川岳(1)
8/7 陣馬・高尾(1)	8/20-23 北穂高・岳沢(1)	8/28-31 槍ヶ岳(2+1)	
8/14-15 赤岳(1+1)	8/28-29 越百山・南駒ヶ岳(1)	8/28-29 穂高屏風岩(2)	
		8/27-29 唐沢岳幕岩(2)	
		9/4-7 剣岳(1)	

事故や怪我の報告

8月14日「甲府幕岩」でクライミング中落ちて右足捻挫/1名

アルパインクラブ横浜

報告＝岸 直哉 計38名(男23:女15) 平均 歳

8/1 官ノ倉山(1+1)	8/11 槍平小屋(1)	稜線(1+1)	8/22 丹沢(1)
8/4-5 立山三山(1+2)	8/11-17 穂高岳(1)	8/20-22 槍ヶ岳-西穂高(2)	8/22 富士山(1)
8/4-6 大雪山(1+1)	8/13-15 鹿島槍ヶ岳～五竜岳(2)	8/21 片品川水系・中ノ岐沢小淵沢(2)	8/24-25 天狗岳(1+1)
8/6-9 金木戸川・双六谷(2+1)	8/14 編笠山～蓼科山(1)	8/21 富士山(1)	8/27 つづら岩(1+1)
8/7-8 針ノ木岳(1+1)	8/15-16 一ノ瀬川・大常木谷(3)	8/21-22 笠ヶ岳～槍ヶ岳～蝶ヶ岳(1)	8/28 谷川岳 西黒尾根(5)
8/7-13 白馬乗鞍～西穂高岳(1)	8/16 編笠山～天狗岳(1)	8/21-22 常念岳 蝶ヶ岳(3)	8/28 谷川本谷・ヒツゴー沢(4)
8/8-9 小川山(1+1)	8/18-20 北岳～塩見岳(1)		8/28 28 甲府幕岩(1+1)
8/8-10 北岳・仙丈岳(1)	8/20-22 剣岳・チンネ左		8/28 一ノ倉沢・烏帽子奥壁南稜(2) つづく

8/29 北岳(1+1) | 8/29 一ノ倉岳(3) | 8/29 マチガ沢東南稜(5) | 8/29 谷川岳 西黒尾根(3)

横浜ハイキングクラブ

報告 = 丸尾真知子

計56名(男22:女34) 平均62歳

8/19 室内例会(45)

8/8-10 槍ヶ岳(5)
8/13-14 北岳(3)
8/22 飯盛山(5)
8/8 丹沢・葛葉沢(県13)
8/20-22 奥秩父・笛吹川水系(県22)
7/31-8/8 四国遍路旅(2)
8/1-3 八幡平・秋田駒ヶ

岳(5)
8/2 姫神山(6)
8/4 鳴虫山(2)
8/6-10 荒川三山・明石岳(1)
8/7 金時山(2)
8/6-8 奥秩父・小川山(4)
赤岳(1)
浜石岳(2)

八海山～中ノ岳(3)
木曾駒ヶ岳(2)
三ツ峠(3)
槍ヶ岳(2)
志賀山・四十八池めぐり(5)
燕岳～常念岳～蝶ヶ岳(1)
三ツ峠(2)

9/9 室内例会(42)

9/4 明神ヶ岳・明星ヶ岳
9/12 箱根・丸岳
9/26 巾着田～日和田山
以上会山行
9/25-26 苗場山

横浜こぶしの会

報告=南雲哲男

計26名(男18人 女8人) 平均55歳

8/1 塔の岳(1+3)

8/1-4 荒川岳・赤石岳(3+1)
8/6-8 北岳・間の岳・塩見岳(1)
8/9-12 北岳・間の岳・農鳥岳(1)

8/21 御岳山、日の出山(4)

8/27-28 塩見岳(1+1)
8/28-29 富士山(6)
予定9/2-3 甲斐駒ヶ岳(1+1)

9/4 葛葉川(5)

9/11 源次郎沢
9/17-19 鳳凰三山
9/25-26 こぶし祭り(丹沢)

藤沢山の会

報告=中河原昭夫

計90名(男44:女46) 平均64歳

8/1-3 北海道・羊蹄山(1)
8/2-5 中ア・空木岳
8/3-7 中部・白山
8/4 運営委員会
8/6-7 奥多摩・水根沢(6)
8/7-9 南ア・北岳(1+他)
8/8 丹沢・葛葉沢(県HL6、他)
8/8-10 東北・八幡平、白神山地(2、他)
8/8-12 雲ノ平(1)
8/8-14 長野・経ヶ岳(1)
8/9-13 北ア・高天原温泉、鷲羽岳(2)
8/10-15 北ア・裏銀座コース(10)

8/10 機関誌「稜線」印刷・発行
8/11 室内例会(33)
8/13-15 南ア・北岳(4)
8/15 南関東・鎌倉天園
8/15-20 韓国・雪嶽山(1、他)
8/18-20 南ア・鳳凰三山(3)
8/21 奥多摩・天祖山(1、他)
8/21-22 丹沢・小川谷廊下(9)
8/22-24 北ア・唐松岳(9)(30周年記念)
8/25 室内例会(38)

8/26 丹沢・塔ノ岳(1)
8/26-27 富士山(3、他)
8/27-28 北ア・徳本峠(1、他)
8/27-29 上越・ナルミズ沢(16)
8/28 富士山(1)
8/28-29 富士山(3、他)
8/29-31 中ア・木曾駒ヶ岳(1、他)
8/29-9/3 上信越・鳥甲山、他(1)
9/1 運営委員会
9/2 八ヶ岳・蓼科山(2)
9/3-4 富士山(1)
9/4 丹沢・双峰嵐(3、他)

9/4-5 八ヶ岳・八ヶ岳山麓(9)
9/8 室内例会、講座・観天望気
9/11 丹沢・鍋割山(14・会ハイク)
9/11-12 南ア・甲斐駒ヶ岳(10・テント泊実技)
9/16-20 丹沢・丹沢縦走(3名、30周年記念)
9/22 入会説明会
9/22 室内例会
9/29-20 丹沢・丹沢山(6名、30周年記念)
9/24-26 北陸・白山(4)

相模アルパインクラブ

報告:水村和也

計35名(男23:女12) 平均53歳

7/25 上野原 高柄山～御前山(1)
7/23-26 荒川三山 赤石岳(1)
7/24-26 小川山(2)
7/31-8/1 小川山(1)
7/31-8/1 奥多摩・大雲取谷(4)
8/1 湯檜曾川東黒沢白毛門沢(1)

8/1 表尾根(1)
7/30-8/2 白馬岳(1)
7/29-8/3 小川山(2)
6/22-8/4 インドヒマラヤ・ザンスカル地方(1)
8/3-5 小川山(4)
8/7 西丹沢 モロクボ沢(2)
8/6-8 西穂～奥穂(3)
8/8 大山南稜(1)

8/6-10 小川山(2)
8/13-15 小川山(2)
8/12-15 焼岳or明神五峰(1)
8/15-17 北岳(1)
8/12-18 北アルプス 唐松岳～白馬岳～雪倉岳～朝日岳～親不知(1)
8/14-18 飯豊山(1)
8/14-19 小川山(2)(

8/18-19 赤岳(2)
8/21 檜洞丸(1)
8/20-22 釜ノ沢東俣(4)
8/21-22 大洞川・荒沢谷(3)
8/20-22 大日岳(1)
8/21-23 穂高屏風岩・雲稜ルート(2)

みずなら山の会

報告:末吉悦子

計34名(男23 女11) 平均59歳

8/12-15 蓮華の森～白馬岳(1+1)
8/13-16 梅池～白馬岳～親不知駅(2)
8/13 三ツ峠(5)
8/14 丹沢主稜(2)

8/15-16 阿弥陀～赤岳～権現(3)
8/18 例会(18)
8/19 鷹取山(3)
8/21 塔ノ岳(1)
8/21-22 戸台～北沢峠～

千丈(4)
8/21-22 釜ノ沢(1+リーダー学校)
8/22 甲府幕岩(2+4)
8/22 小川山(1+他)
8/22 小川谷廊下(2)

8/22 檜洞丸(1)
8/23-24 種池山荘～鹿島槍(1)
8/28 鬼石沢(1)
8/28 広沢寺(3)

つづく

8/28-30 槍ヶ岳～天狗原～上高地(1+1)	9/4 塔ノ岳(1)	9/11 焼山～蛭ヶ岳～塔ノ岳(1)	9/23-25 折立～雲の平
8/28-30 ババ平～槍ヶ岳(1+1)	9/4-5 小天狗～赤岳～硫黄岳～稲子湯(1)	9/11 上州武尊山	9/23-25 梅海新道
8/31 岩山理事会	9/4-5 甲斐駒Aフランク赤蜘蛛ルート(1+1)	9/11-12 北岳パットレス(1+2)	10/2 読図(花立～源次郎尾根)
8/7 奥多摩つづら岩(6)	9/5 三ツ峠(1+2)	9/17-19 七倉～蓮華岳～扇沢(1)	10/2 親睦会(丹沢・パーベキュー)
8/7 十二湖-白神岳(1+2)	9/5 鷹取山岩場整備(8+他)	9/17-19 赤木沢	10/3 クリーンハイク(不動尻)
9/3-5 北岳パットレス(4)	9/8 例会(19) 予定	9/18 谷川～ノ倉沢烏帽子岩南稜(4)	10/13 例会

他会に通知したい事項

8月3名入会、9月1名入会、10月1名移籍入会予定

その他

ハヶ岳登山中、大きな落石あり。登山者は下方の人にも注意。

カモの会

報告:森谷準一 計66名(男48:女18) 平均36.2歳

8/1 日和田岩トレ(4)	8/8 高瀬ダム～高天元～槍ヶ岳～新穂高温泉(1)	8/18 劔岳・ハツ峰 峰C フェース(1+4)	(3)
8/3 ツール・デュ・モン ブラン山塊一周(1+11)	8/12 北鎌尾根(2)	8/21 小川山(1+3)	8/28 谷川ノ湯槍首川本谷(4)
8/6 雲の平(1)	8/13 白馬岳(1)	8/21 奥秩父/釜ノ沢東俣L学校(6)	8/29 南アルプス 間ノ岳～北岳(1+1)
8/6 立山～薬師寺～槍ヶ岳～上高地(1)	8/13 穂高縦走(3)	8/21 瑞牆山カサメリ沢(1+3)	8/29 奥秩父/一ノ瀬川流域竜喰谷(3)
8/7 瑞牆山カサメリ沢(1+1)	8/13 赤木沢(3)	8/28 日和田の岩場(2)	8/29 名栗河又登山道整備(1+3)
8/7 三ツ峠	8/13 北穂～西穂(4)	8/28 前川大滝沢(2+3)	
8/7 二口山塊/大行沢(6)	8/14 爺ヶ岳～鹿島槍(2)	8/28 北アルプス・穂高/屏風岩・雲稜ルート	
8/7 谷川/ヒツゴー沢(4)	8/15 爺ヶ岳(1)		
	8/15 折立～薬師寺～室堂(1)		

やま + +

報告:栗田 彰 計15名(男11:女4) 平均50歳

8/7-10 飯豊連峰縦走(7)	8/21 軍刀利沢(3)	8/29 葛葉本谷(5)	9/8 例会
8/14 水根沢(6)	8/20-25 北ア縦走(2)	9/4*5 劔岳	9/18-19 やま + + 祭
8/18 例会(11)	8/25 例会(10)	9/6 奥大日岳	9/22 例会

山ブキの会

報告:青柳 計7名(男 :女7) 平均64歳

8/9-11 燕岳	9/4 高尾山	9/26 大菩薩峠	10/15 塔の岳
8/20 高尾山	9/12 陣馬山	10/9-10(宮城)田部井さんの講演会 栗駒山	10/25-27 大山(鳥取)
8/21-23 鳥海山、月山	9/14 岩トレ・鳩ノ巣	10/13 二つや山(福島)	
8/26 大蔵高丸	9/23 景信山		



登山時報 9月号 目次

16年ぶりの再挑戦 シンジャパンマ登頂 近藤和美 03
 ハイキングセミナーから会ができるまで 大阪労山組織部のとりくみ 富本美樹 浜田光国 14
 いまどきビックウオール 水野奈保美 06
 花と小父さん ハヶ岳の妖精・ツクモグサに逢いに 秋田誠 08
 初めてのアルパインクライミング 甲斐駒ヶ岳 横尾孝夫 18
 草創期を語る 原水草行さん(後) 石川友好 23
 武庫川ダム 建設中止を勝ち取るまで 最終回 村上悦朗 16
 第29期全国女性担当者会議報告 磯部津輝子 20
 きみも『岳』の世界へ踏みだそう! 青年学生委員会講習会報告 後藤真一 22
 連載 クイズ 地図読み迷人

野鳥との出会い ヤマガラ 小枝琢三 福井壽彦 10
 シグナル 山のトイレ問題について 齊藤義孝 12
 山で気になるカンキョーの話 菊地敏之 22
 連載 碧い南の島だより 雨宮節 27
 JWAFクリック 28 全国連盟の活動 31
 専門委員会活動報告 32 編集後記 34
 インタビュー ひと 竹本幸造さん 渡邊敏弘 35
 地元会員特選ミニガイド
 北海道・黄金山(PDF103KB)/今野平支郎 36
 青森・大崩(PDF106KB)/柄沢博之
 ブックエンド
 『山と音楽』他 淵田佛二 他 38
 会報えつらん室 小倉迪夫 40
 オススメ山道具 ゴアウインドストッパー・アクティブシェル(PDF68KB)笹原芳樹 42

県連のスケジュール

9月		10月		11月	
1 水	登山リーダー養成学校机上講習	1 金		1 月	常任理事会
2 木		2 土	H Cリーダー学校実技講習 登山リーダー養成学校実技講習	2 火	
3 金		3 日	H Cリーダー学校実技講習 登山リーダー養成学校実技講習 不動尻クリーンハイク	3 水	救助隊セルフレスキュー講習会
4 土		4 月	常任理事会	4 木	登山リーダー養成学校机上講習
5 日		5 火		5 金	
6 月	常任理事会	6 水	登山リーダー養成学校机上講習	6 土	
7 火	救助隊運営会	7 木		7 日	H Cリーダー学校実技講習
8 水		8 金		8 月	連盟news印刷
9 木		9 土		9 火	事務局長会議/連盟news発行
10 金		10 日		10 水	
11 土		11 月	連盟news印刷	11 木	
12 日	定期理事会	12 火	事務局長会議/連盟news発行	12 金	
13 月	連盟news印刷	13 水		13 土	
14 火	事務局長会議/連盟news発行	14 木		14 日	
15 水		15 金		15 月	
16 木	H Cリーダー学校机上講習	16 土		16 火	
17 金		17 日	遭対部firstaid講習会	17 水	
18 土		18 月		18 木	
19 日		19 火		19 金	H Cリーダー学校修了式
20 月		20 水		20 土	
21 火		21 木	H Cリーダー学校机上講習 事務局部会	21 日	
22 水		22 金		22 月	
23 木	不動尻C H下見	23 土		23 火	
24 金		24 日	H Cリーダー学校実技講習	24 水	
25 土	関東ブロック役員交流会	25 月	自然保護委員会	25 木	
26 日	関東ブロック役員交流会	26 火		26 金	
27 月	自然保護委員会	27 水		27 土	全国登山者自然保護集会
28 火	事務局部会	28 木		28 日	全国登山者自然保護集会
29 水		29 金		29 月	自然保護委員会
30 木		30 土		30 火	
		31 日			

2010年度の全国的な規模の集会・会議予定

全国ハイキングリーダー学校
M F Aインストラクター養成講座
第12回全国遭難対策担当者会議
田部井淳子さん労山50周年記念講演会

9月18日～20日（東日本）
秋

10月2日～3日（東京・全国事務所）

10月9日（土）仙台市

10月2日（土）熊本市

10月30日（土）～11月2日（火）3泊4日

11月7日（日）

11月27日（土）～28日（日）東京都勤労者山岳連盟

野辺山・救急救護講習のお誘い
群馬県民ハイク2010 in 南牧村
第15回全国登山者自然保護集会